

## 活動報告

団体名	熊本大学学生災害復旧支援団体「熊助組」
活動名	熊本大学・熊助組の熊本地震被災者支援のための傾聴・交流活動
活動期間	2017年10月～2019年3月
活動の成果	<p>当団体では平成28年4月14日の前震以降、熊本県内で活動を行ってきました。震災当初は避難所の運営やがれき撤去などの活動を行っていましたが、それらの活動が落ち着いてきてからは避難所での傾聴活動を主に行ってきました。そして現在は仮設団地でのコミュニティ形成支援の一環として仮設団地集会所での足湯・カフェ活動を行っています。</p> <p>震災から3年が経ち、仮設住宅から退去される方も増えてくる中で仮設団地内も変化してきていると感じました。そのような状況でも、地元の大学として継続的に活動を行うことで、住民間交流の場を提供することができました。今後も最後まで仮設住宅での支援を続けるとともに、大学生だからこそできる支援を行っていきたいと思います。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>第2次に続き今回も当団体の活動を支援していただきありがとうございました。熊本地震発生以降、熊本の学生として何かできないだろうか、との思いで活動を続けてきました。ノウハウがない状況でのスタートであったため、うまくいかないことも多々ありましたが、その反面、大学生という立場を活かした活動も多くできたのではないかと思います。その結果として、私たちの活動を通して笑顔になってくださる方がおり、活動の必要性を感じました。また、災害ボランティアとして活動している全国各地の学生と共に活動することで、これから先熊本で何が求められるようになるのか知ることができ、これから先も息の長い支援が必要になってくると感じました。これからも地元の大学生として、地域に寄り添った活動を継続して行っていきたいと思っています。引き続きご支援とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)



